

**第2部 パネルディスカッション**

**経営環境変化に応じた取組みと  
経営層とのインターリレーション**

2010年3月2日

(株)本田技術研究所

四輪R&Dセンター 特許技術グループ

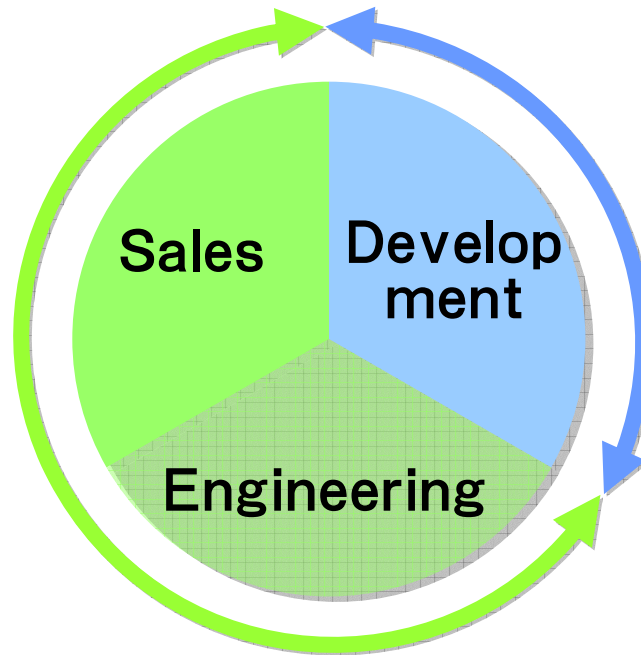
猪之詰 毅

# 本田技研工業 知財体制

## 本田技研工業 知的財産部

ビジネスと知財  
⇒ 知財活用

- 全社戦略企画
- 模倣品対策
- ブランドマネジメント
- ノウハウ管理
- IT、ビジネスモデル
- 生産技術
- 予算統括
- 契約訴訟



## 本田技術研究所 各知財部門

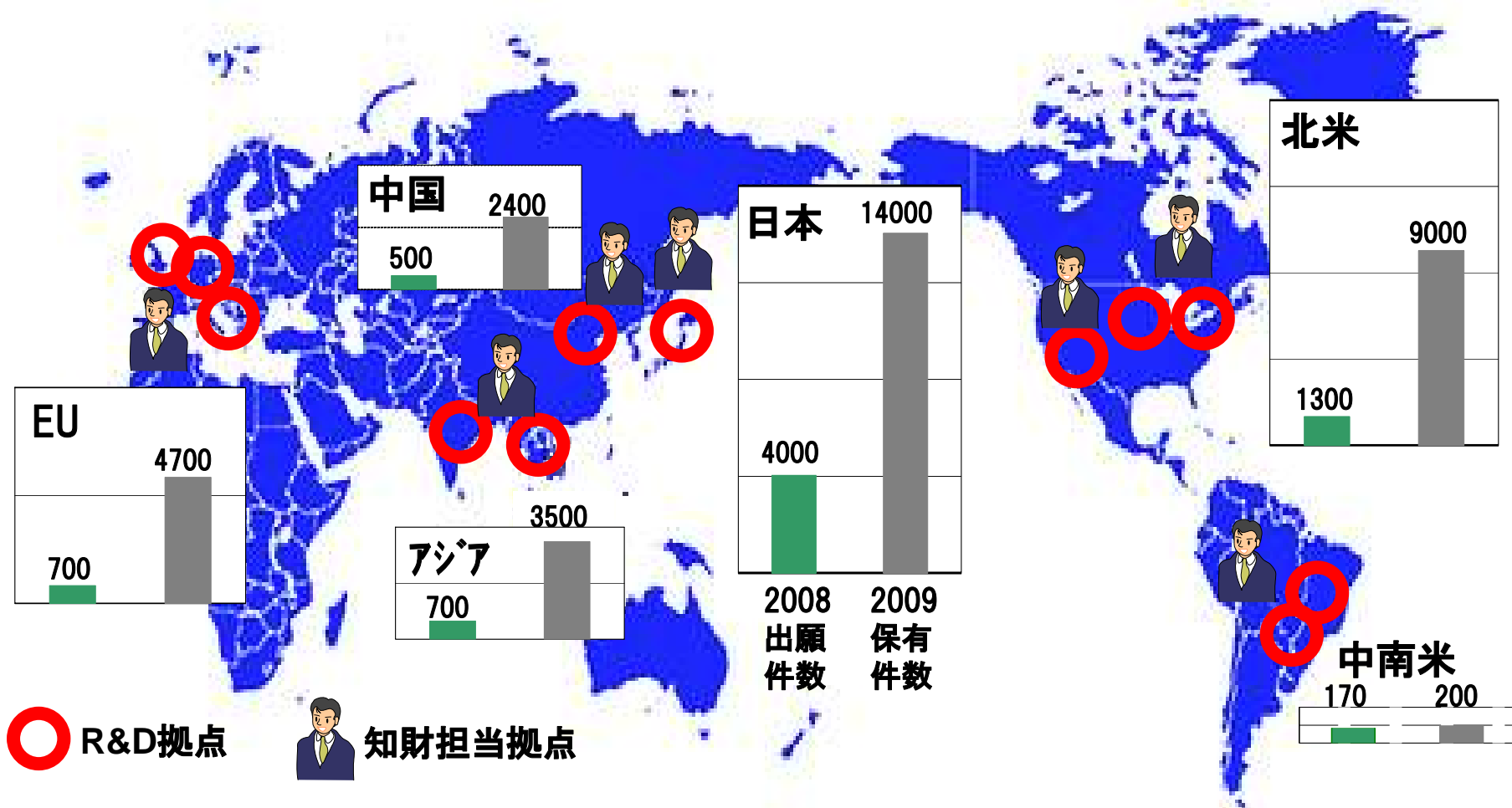
研究開発と知財  
⇒ 知財創出

- 商品・技術に関する特許出願、他社特許調査
- 国内外権利化業務
- 係争訴訟
- 特許情報解析

創業者のDNA(技術の重要性)  
→研究部門を分社化(1960)

# 本田技研工業 R&Dグローバル活動

維持

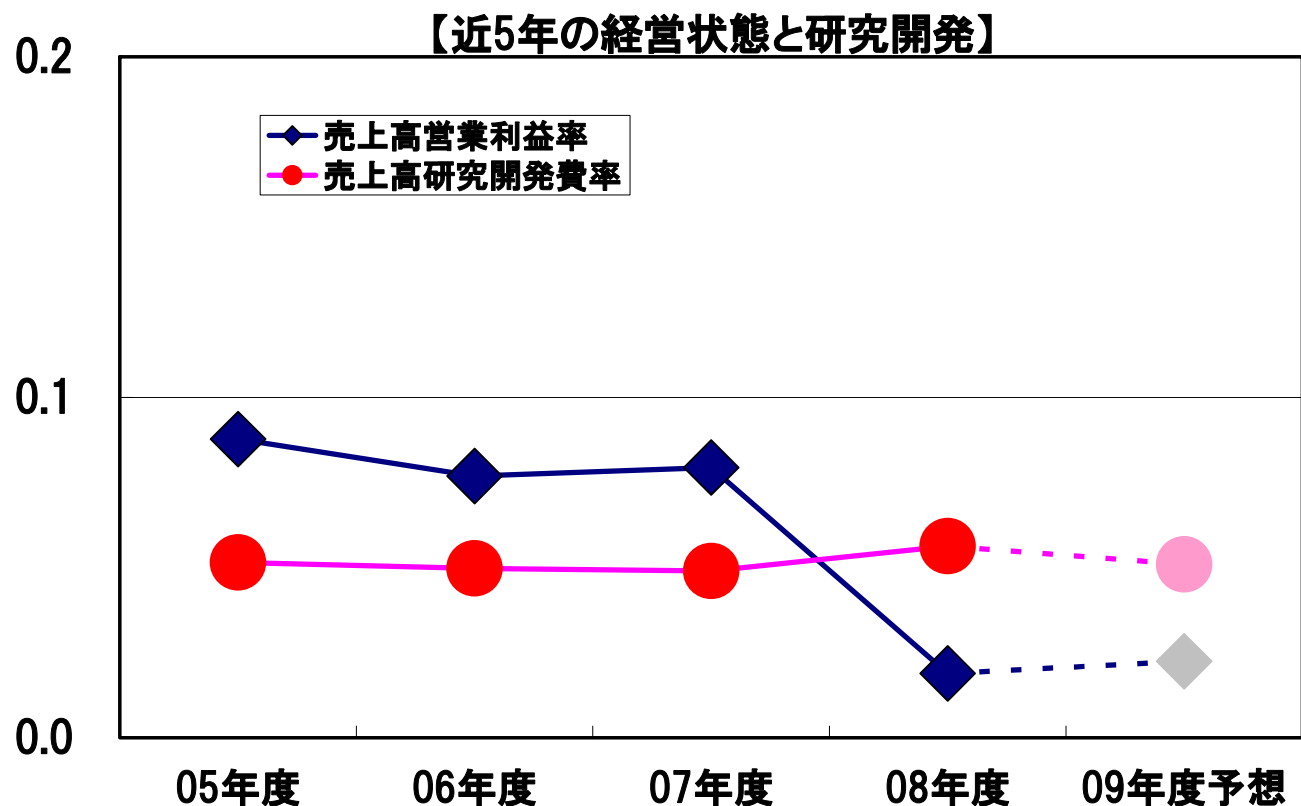


地球的視野で世界中の顧客の満足の為のR&D展開

地域事業に密着・適合した知財活動とグローバル人材育成

# 本田技術研究所 R&D活動

維持



**昨年度以降減収減益下であるが、「明日への仕込み」は継続**

技術が枯れると事業も止まる(開発費は惜しまない)。但し工数制限は実施されている

**質の高い商品をタイムリーに供給**

歴史上、経済危機や大戦後に、革新技術出現(コピー機、カメラ、自動車等々)

# 本田技術研究所における「技術」と「知財」

維持

	技術開発部門	知財部門
タスク	人・地球に必要とされる技術 安全・安心を提供する技術 時代を先読みする技術	「新しさ」の追求と保証 「新しさ」に基づく『強い知財権』取得
必須要件	壊れない・使い易い機能 使って楽しい機能 安価で十分な機能	発明・創作の完全知財化 特許・意匠、Know/how etc ⇒技術資産の知財マネジメント

儲けは二の次、販売台数・出願件数は目的ではない

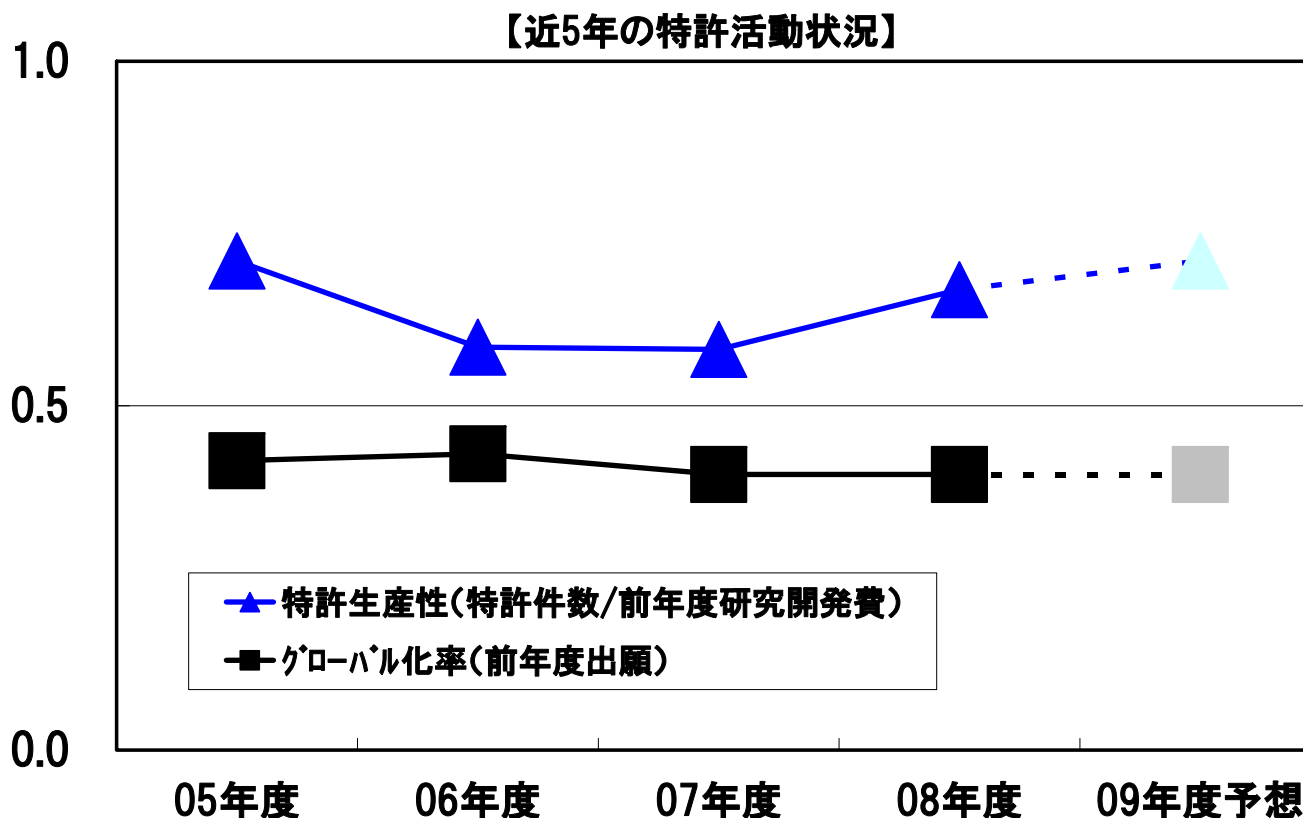
自らの手で新しい需要を創造し続ける

研究所スローガン:時代に先駆ける「先進創造」

魅力ある技術で、安くて安心できるものづくりの実現

# 本田技術研究所 特許活動目標

維持



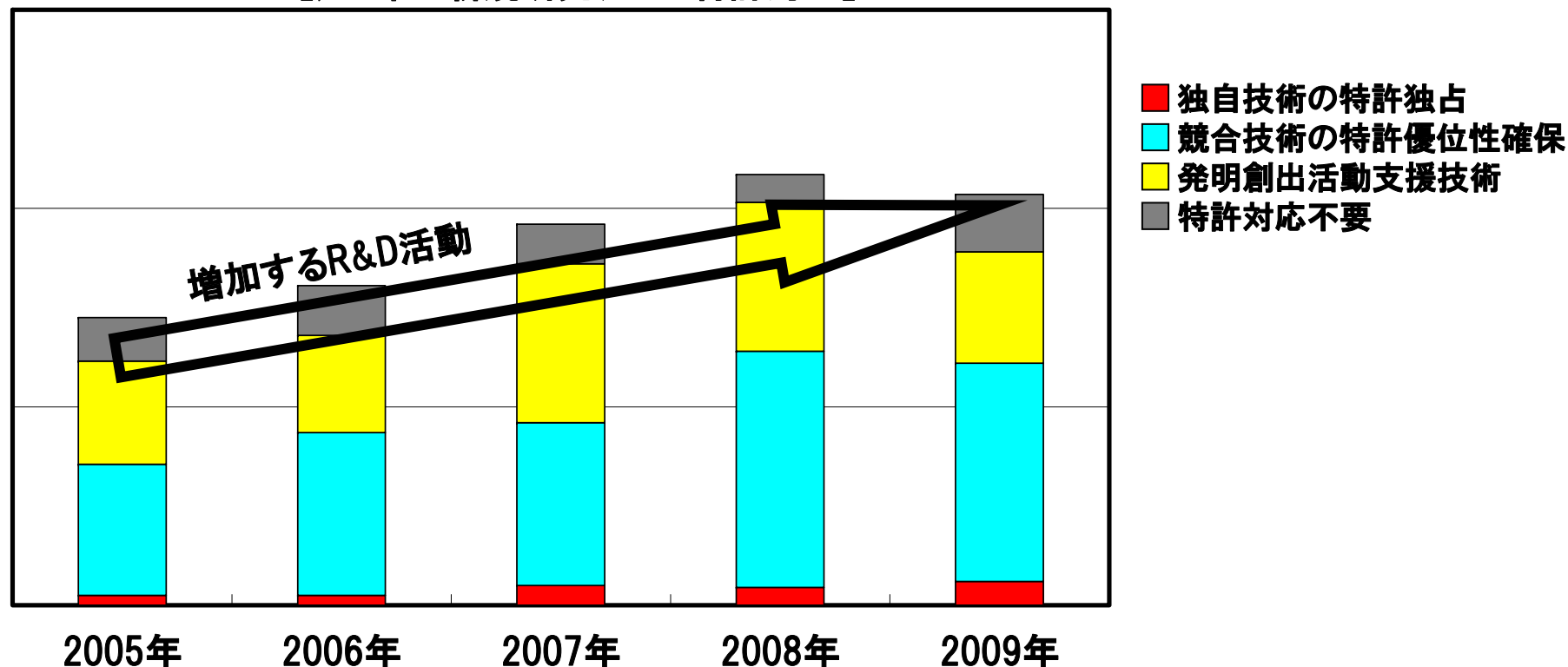
## 「異質」の追求、発明の発掘、グローバル保護等の継続・強化

知財予算は若干削減が現状:グローバルO/A回数適正化、未利用・過去技術知財の削減等は必要

## 発明・創作を奨励し、Hondaの発展に寄与すること

革新技術創出支援:明日への糧、種まきは必須

【近5年の新規研究テーマと特許対応】



研究開発テーマの「革新性」「有用性」に応じた特許対応実行

限られた原資・工数の中、活動を我慢する割り切りも必要→改良技術・長期化技術・用途未定技術等は知財活動MIN化

シンプル・集中・スピードによる効率的な研究開発の実施

## 【競争激化技術の研究開発と知財の活動】

技術区 機能設計

必要機能開発 ⇕ 他社知財障壁の除去

知財区 知財保証

開発技術方向性の早期見極め

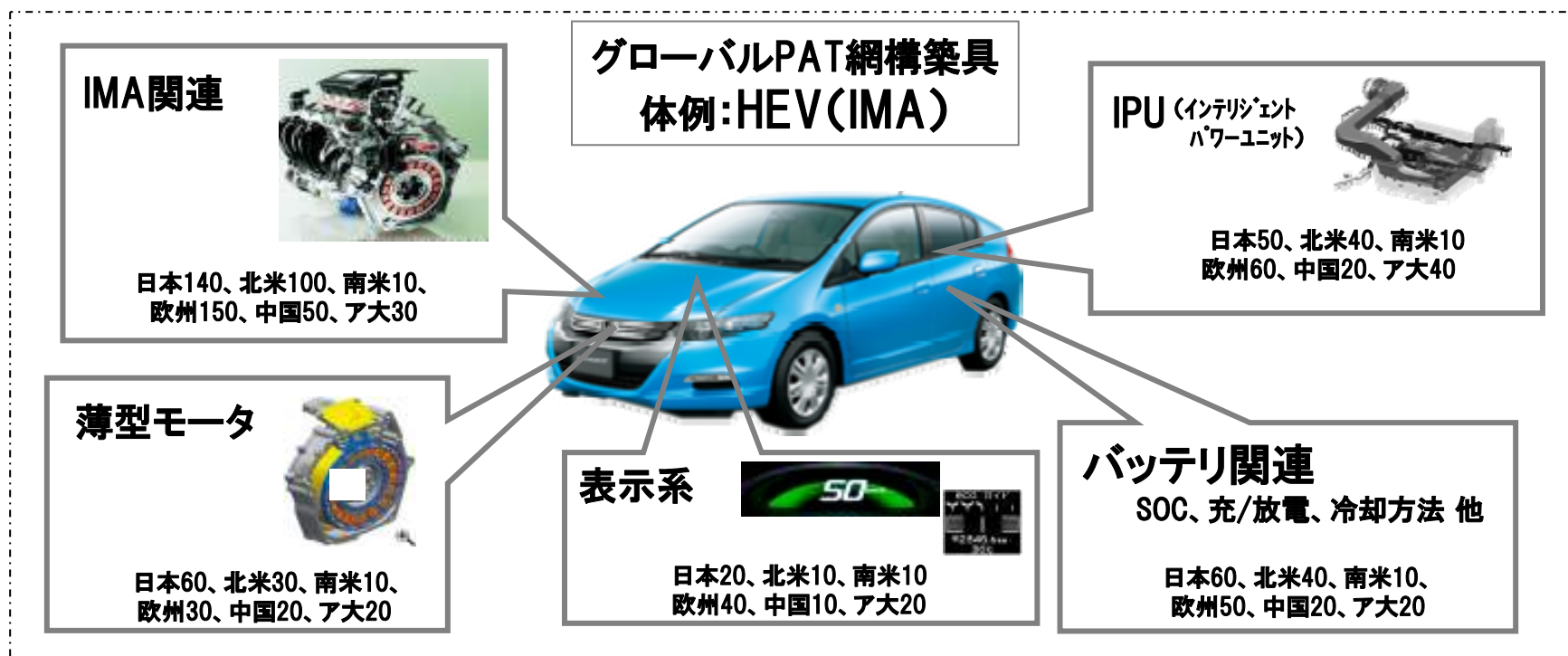


**独自技術確立**

+

**グローバルPAT網構築**

厳しい環境の中でも、手を抜けない活動には最大限の注力

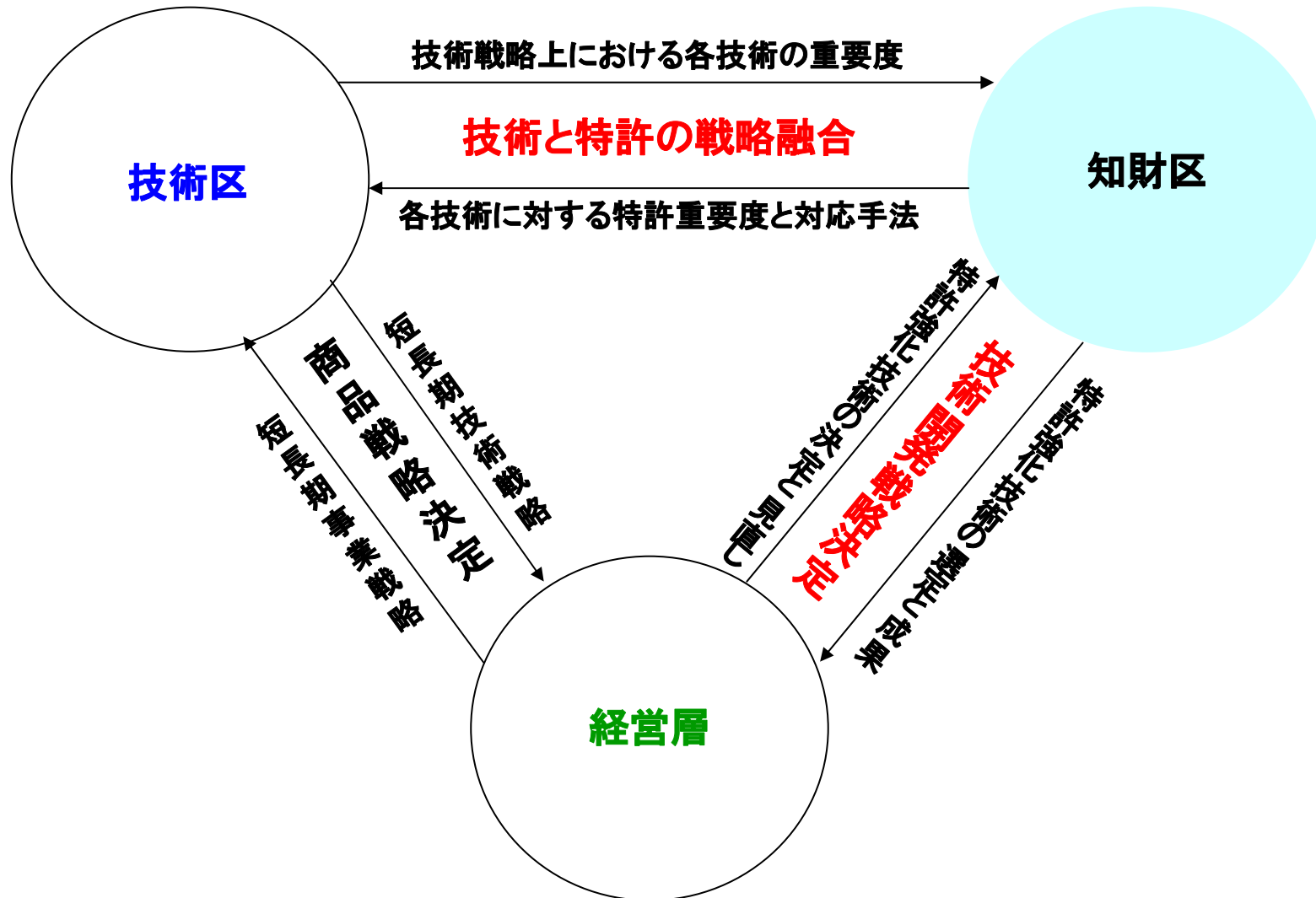


知財で技術の「違い」を保証し、お客様に選んで貰える価値の提供



# 本田技術研究所 戦略フレームワーク

進化



三位一体で、お客様に選ばれる商品・技術の創出

知財区から技術区/経営層にも知財情報発信(技術戦略/商品戦略策定)

# Hondaの人材育成

【基本理念】 人間尊重：自立・平等・信頼

《目的》

## 『個を活かす』+『組織を活かす』の融合

《人材育成の3つの主要な観点》

### I 「場」の提供と「場」での実践

2階に上げて、梯子を外す

能ある鷹は爪を出せ

『言ってみな』、『やってみな』

経験させることが成長の一番の近道

### II 優秀な人材の異動を優先

異動を活性させる為には『一番』を出せ

抜けた穴を埋める人が育つ

行った先の活性と自己成長

### III 「旬」なタイミング

間に合わない名医は藪医者に劣る

将来の成功の為に、今やっておく

**HONDA**



# Hondaの存在価値 『三つの喜び』が 達成できる商品の提供

【Hondaの企業理念:『三つの喜び』  
「買う喜び」「売る喜び」「創る喜び」



※ガソリンエンジンは別売りです。



**HONDA**  
The Power of Dreams